京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久紳一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

京城居留民團公文

京城居留民團告示第一號

居留民團税其他ノ公課納入ニ關シテハ民團[illegible]ニ[illegible]因リ便宜上特ニ[illegible]ヲ派シ取立ニ從事セシメ來レルモ右ハ正當ノ手續ニアラサルノミナラス往々不測ノ弊害ヲ醸スノ嫌アルヲ以テ來ル四月一日ヨリ全然吏員ノ取立ヲ廢止スルト同時ニ滯納者ニ對シテハ直ニ督促ヲ爲シ尙ホ指定ノ期限内ニ納付セサル者ニハ滯納處分執行ノ不得已ニ至ルベキヲ以テ自今納税告知書ノ交付ヲ受ケ次第ハ直接會計[illegible]ニ納付シ各自納期ヲ誤マラサル樣特ニ留意セラルヘシ

明治四十三年三月二十九日

京城居留民團民長　古城菅堂

內外應酬

一記者

▲二十五日の大阪每日新聞は改刊の大改革と題して『司法省の法律取調委員會に於て起草中の、刑事訴訟法には公判の根本的改革を爲し審議中なるが從來我國の刑法は直接審理主義なるにも拘はらず實際は間接秘密審理を爲しつゝあり從て司法警察間に調書を作製せしめて一切豫審本位を取り、判事は犯罪事實の調査を爲さず、形式的公判を開廷し宣告を下す爲めに不公平なる刑の量定を爲すは自然の結果である、依て今回の改正を機とし直接審理を實現せむとして腐心して居る、此の改正行はれて愈々直接審理を正式に實行する曉には訴訟關係人及證人の全部を呼出し逐一口頭を以て陳述せしむることゝなる云々』と記してある、勿論從來と雖も直接審理で有つたのであるが、全然間接審理ではなかつたかも知れぬ併しながら多くは間接審理であつたといふことが出來る、從て之れに伴ふ弊害は大每所載の通りであるのみならず韓國などでは頗る珍な事實がある、一例を擧ぐれば前年警視廳の刑事巡査山本某の橫死事件の如きである、人民は無罪ゝ宣告を正當と見る外は無からうが彼の事件は正しく間接審理の缺欠を示して居るやうに思ふ、處で同じ缺欠から芝居が組立てられたのは即ち珍だといふのである、當時の被告人奥谷某なぞは彼の事件を芝居に組立てゝ興行じやうとして騒いで居るさうである人民は刑事訴訟法の改正に依て斯る芝居を見せられざるを希望するのである

▲邦人が韓人を研究し若くは韓國の事情を調査することは餘程前から着手されて今では一つの流行の樣になつて居るのである、併しながら其の調査も研究も、なるが人と更へ時を異にする丈けで多くの進境を得ないのは遺憾である、唯に政府の調査研究が比較的上首尾に見ゆるのは之れに要する費用なり機關なりの關係から當然の結果であるが、殊に社會の政府に要求する事が、間々偶發的で隨て首尾顚倒せざるの嫌があるが斯くて何期待に副ふの結果を得んとするものあるは甚だ遺憾である、又同時に政府當局者が自ら知れる處を以て嚮導とし、社會の要望に對して頗る冷淡なる態度を示すは惡むべきである併しながら如何なる言議も政府の此の態度を變めしむることは尋常の努力を以て爲し得らるゝ處で無いのである、因て諒へ能はずんば强ゆべきで、强いんには强い聲と丈けの[illegible]を要する其の準備には有力なる民設の國情調査の機關を組織するの必要がある。

第二練習艦隊航路

來る七月十八日江田島海軍兵學校を卒業すべき少尉候補生百五十名を乘すべき練習艦隊は既に「淺間」及び「笠置」に決定し居れるも其遠洋航路に關しては尙確定せざれど當局者の意見は大体に於て南米の一部より中央亞米利加を選定することに略ぼ一致し居り目下之が豫算其他に就き調査中也而して同艦隊の遠洋航海に上るは順序を以てすれば南洋航海を終りたる後即ち十月上旬なるも季節の都合上同航海は之を後廻にし八月上旬橫須賀出航直に遠洋航海に就くやも計られず尙は目下航海中の練習艦隊阿蘇及宗谷は七月中旬歸着を待ちて直に第二豫備艦に編入さるべく同時に練習艦隊司令官の交迭を見る筈

昨今銀塊の趨勢

客歲に印度銀塊輸入稅改正の結果二十四片臺より二十三片十六分三迄低落せる銀塊相場は近來漸く引き返し二十三日二十四片となり二十四日二十三片十六分の十五を唱へたり最近の倫敦通信は此の顚落を說明して曰く頃日印度政府が卒に銀塊輸入稅を引上ぐるや當時倫敦に於て旣に取り組まれたる銀塊賣買先約定に於て新關税の負擔は買方賣方の何れに歸すべきやの問題を解決するに頗る困難を來し爲めに一時印度との取引を中止するに至りしかば相當は廿三片十六分の三に暴落し尙ほ一段の下落を來すべき形勢なりしも折柄此安値に對し清國より買註文注がれたる爲め相場は豫想せられし程低落せず却て上向きの商狀を呈し爾來引續き清國よりの買註文に二十三日迄に二十四片迄引返せり清國の買用は尙急に已まざるべく安値には買ひ進むべければ銀塊は今後夾渠の上進は望み得べからずさするも甚しき下落はなかるべく先づ此處暫く二十四片弱みに椅合ふものに非ざるかと

日本銘刀傳

第七十八席　邑井一講演

法城寺正弘（一）

甲「源兵衛さん何を言つて居るのだ、何しろ醫者を呼んで來て…… 乙「是れは針治の方が宜くはありませんか 丙「何でせうか病氣は…… 丁「左樣さ、病でせう 戊「已ばかりではない、源兵衛さんまで彼樣な事をいつて居る」と上を下への大騷ぎ、其の內に醫者も來るし針治醫も來る、種々と治療をした其の內に息は通つて來ましたが、口が思ふやうに利けません、只今の醫學上の詞で申しますならば心臟麻痺といふのです、其の當は痛風と申しまして、碌々治療もせぬうちに、もう治療ぬうちにもう治療ぬものと極て仕舞つて居たのでございます。上總屋長右衛門は、俄に痛風の爲めに倒れましたが前にも申す通り、此の病氣は長引く病氣で、死ぬともつかず、全快ともつかず、口は利かれず、涎が出て痛斷を濫し、五尺の身体が自由にならねば、自然不分明口で叱言をいふ事になる、親類の者が見舞に來ても言葉が分らず、女房のれさくが通辨をするので、はゝあ左樣でもあつたかといふだけの事、誠に心細い次第だ、れとくの骨折は何に譬へやうもないくらゐで、店へ客が來るそれへ出て世辭を並べ、奥で咳をせ〳〵と飛んで來て帳中をたゝくといふ譯だから、男子女を一人で兼ねるといふ、俗にいふ一人役者だしさ、氣は若くて負けないけれども、年寄の悲しさ老母も心配はすれども、手足が若い者のやうには動かないので氣ばかりあせるので、此れも病氣になりまして、床につくといふ有樣、如何に浮世とはいへ、まア何たることだらうと、れかみさんはホロ〳〵涙ばかりでこぼして居ります、然るに母は此の事である些は兎角の上に災害並び到ります、然るに母は老病で成り、是れは老病であるからモウ助かることはない、全快は覺束ないから斷めるより外はないのだけれども世間へ對してまづ老母は老病で死ぬのだから仕方がないとして、介抱は夫程には致しませんが、亭主は大事ですから、夜の目も合せず介抱をし升から我と吾が身の上には、中元と正月さ一所に來て婚禮と出產の請負の看板を上げたやうに、片時も傍を離れぬ身体、夫故つい濟まぬことだと思ひましても店の方が等閑になりますので。少しの間に客足も減つたといふやうな次第になりました、さて主人の長右衛門は齢後三年といふ長病、母親は二年目に死亡りました、其の葬式の混雜を見聞するので長右衛門の病氣は猶更好くありません、益々惡しくなりますので、醫者は今では小首を傾むけまして 醫「今のうちに今一人醫者を立合はして下さい」と內密に耳うちする樣になつたが、さうかといつて今更他の醫者にも見せられず 幾「イヽエ萬一のことがございましたら、壽命づくと諦めませう」と口には体好にいふものゝ、心中では氣が揉めてたまらず、不憫にれとくは夜の目も合はず三度の食事の味さへも咽に通らぬ思ひの暗身體は己が身につかず、唯ブラ〳〵さ風向きを知らする鳥の姿に似て夜明の鷄に息を繼ぎ、まあ今宵も無事であつたか、明日もことなく過よかしと、近所の人の手を借りて僅に代る介抱の暇さへ眠る夢の世に、斯く心を碎くとは世は樣々の成行ぞと、枕に就けば忽ちに眼前に浮ぶ良人の末期、親類知巳の歎きの聲に、眼覺むれば南柯の一夢魔はれて寢るさへ心の眼は眠られず、月日の指さへ折倦きて、今日は何日ぞと問はるれば、良人の病みはじめたる日の外覺なく、己が身体か人の身か、定めもつかぬ程とはなりました、此の二三日は長右衛門の病氣も、好き鹽梅に悲つて、嗚スヤ〳〵と眠るのみゆゑ看病疲れの女房れさくも、六畳の一間と間離れし座敷へ來りて一ト寢入りして居りますと、『れかみさん、れかみさん』と呼起すものがあるから、誰ならんと目を開いて見ますと手代の幾三郎でございます 幾「何だね幾や 幾「少々御相談が申したいことがありますので皆樣の目を盗んで、漸くの思ひて參りました、れ目にかゝつて少々御話申したいことがあるのでございます、



給仕入用

望みの方は本社營業部へ申出づべし

三月廿五日　京城新報社

廣告

キッコーマン醤油　最上　雜　韓國仁川　日本醬油株式會社

▲開店御披露　東京手打　生蕎麥及天麩羅　龍山驛向ひ（電話六〇五番）　雜林庵

不用建物賣却
一景福宮、昌德宮其の他に散在する本府不用建物總建坪約四千餘坪右賣却す希望者は本府主殿院に就き詳細の手續を問合せ且つ實地見分の上來る四月十日迄に同院に申出でらるべし
隆熙四年三月二十六日　宮內府
追て例院出頭の際は昌德宮敦化門にて皇宮警察係に就き入門手續を爲すべし

最上　醬油　龍山祝町（電話三三六番）　高橋醬油釀造所

電話一八二番　まちや　京城曙町　大槻商行質部
御便利を圖り迅速嚴格に取扱ひ御質物は安全に一定の場所に保管す　流質品と雖も場所の許す限り可成長期間大切に留保し萬遺漏なきを期す

城の地に被雇たし
龍山　●年廿六歳保證人有御報酬上
宮衙用達業又は通關手續に經驗あり
銀行會社商店及官衙を望む
京城新報龍山支局に（若松町）姓名あり

開業御披露
今般左記の處に開業致し粹樣方の御來車を待申候
京城本町八丁目横入初音町
待合貸席　松廼家
電話千三百九番

生儀左の所に移轉し法律事務の御依囑に應す
京城南部大坪坊冩字洞第二統三戶（大韓天一銀行北側東入）
前判事　辯護士　田中圭三

生儀多年京都帝國醫科大學耳鼻咽喉科教室に勤務罷在今般下記の處に研究室を兼ね居候處今般專ら耳鼻咽喉科患者の診療に從事致し候
和辻博士　耳鼻咽頭、喉頭、氣管病
診療時間　午前九時至午後七時迄
旭町三丁目（三日月旅館上）
京都醫科大學　醫學博士　和辻春次
今般石田誠君貴地に於て開業致候間小生同樣御眷顧被下度候
前漢城病院耳鼻咽喉科部長　石田誠
石田耳鼻咽喉氣管科醫院

三越
四月一日より七日まで
春季大賣出し
並に新裂見切反物色々取揃へ居候
京城本町　三越呉服店
電話三五二番

シガー、ブドゥ酒、ブランデイー、洋菓子、果物カン詰類
シガレツト、シャンピン、ウヰスキー、キリンビール、タンサン
卸小賣
歐米雜貨洋酒食料品　洋煙草類金銀屬美術品　直輸入商
京城本町二丁目　辻屋
本店電話一四八　支店電話二六六

東京電報

▲東宮殿下の行啓　昨日葉山御用邸へ行啓相成りたる皇太子殿下には本日妃殿下御同伴沼津御用邸に御避寒中の皇后陛下の御機嫌を奉伺即日御歸京あらせらる(廿九日)

▲農銀大會の開催　今回特殊銀行をして水產業者に資金貸付を爲さしむる事となりたるを以て全國農工銀行は將來の方針を一定する必要を生じ勸業銀行の協議會を開き改正法案に疑義を生じたるを以て四月二十日勸業銀行に於て臨時大會を開く事に決定せり(同上)

▲勸業博覽會の延期　本年開設の豫定なりし西伯利亞ババロフスカ勸業博覽會は露國政府の補助金延期となりし爲め明年に延期せられたり(同上)

▲行政整理と各省　官報號外を以て各省行政整理發表せらる其大要左の如し
一、內閣及附屬官衙減員六十四名
一、鐵道院減員四百六十四名(新に鐵道調查員を置く)
一、內務省及附屬官衙減員百十三名
一、大藏省及同減員六百九十四名(新に稅關一箇所增設定員五十五名增加)
一、陸軍省減員二十五名
一、海軍省同五名(新に建設所鎭海灣支部を置く)
一、司法省及監獄減員百六十三名(裁判所書記定員書記長八名判任書記四千三百七十八名とす)
一、文部省及所屬官衙減員二百名(新に農業學校、盲啞學校等直轄學校八校を新設す)
一、農商務省及所屬官衙減員四百十五名(新に獸疫檢查所鑛物調查所種牛場を置く)
一、遞信省減員五十二名(郵便貯金局新設局長以下定員五百十二名、通信管理局長十三名以下定員千九百十八人を置く。東京、大坂、熊本、仙臺局長を勅任とし通信管理局十三個所を置く)
一、遞信省附屬官衙減員十九名(海員審判所官制新設)
一、行政裁判所增員五名
一、警視廳減員二十一名
一、貴衆兩院事務局減員八名
一、地方官々制中減員七百二十名
一、北海道廳官制中增員六百廿九名
以上の外朝鮮、臺灣等の定員を多少づゝ減員せり(同上)

▲大團体の歐洲見物　日英博覽會開催を機とし中流實業家の歐洲見物を目的として社外船主中の有力者實業家等發起となり約六千噸の汽船を觀覽船に仕立て來る六月上旬本邦出發往航には成る可く寄航を避けて倫敦に至り復航は乘り込み員等の希望により地中海沿岸其の他の方面に巡行せしめん計畫を立て目下準備中なり航程は往復約四箇月團會員總數五百名經費一名五百圓とし觀覽船內部は全部疊建具を用ひ食事其の他總て日本式を採用す會員は倫敦其の他上陸の場合にも一樣に羽織袴を用ひ以て國華を發揮すと觀覽船のテームス河畔繫留中は會員の希望により其の船內はホテルに代用する事等なり(三十日發)

▲小村外相の歡待　小村外相は淸國二殿下の歡迎宴を開き頗る盛況を極めたり(卅日)

▲ル氏と清國顧問　清國政府は政務改善の必要上前米國大統領ルーズベルト氏を最高顧問に招聘したきの希望あり既にル氏に交涉を開始し同氏も東洋の老大國支那の爲めに一肌脫がんとの意ありとの說盛んに傳へらる(三十日)

▲日本戰艦の製造　日本海軍省にては二萬三千噸の戰鬪艦を建造するの計畫あり英國に注文の爲め三名の造艦監督官を派遣せりと傳へらる(同上)

▲舞踏場火災と燒死　ハンガリー、エトコリツの舞踏場から火災起り見物人二百五十名燒死す(卅日)

▲鹿軍機大臣の危篤　軍機大臣鹿傳霖は病氣危篤なり(三十日)

牛皮改良の急務

韓國產の牛皮は韓國重要物產の一にして其輸出高も年々百万圓以上の巨額に上るも其質劣等にして日本に於ても最劣等に置かれ製靴業者の如きは滿洲產の牛皮を需用して未だ韓國產のものを需要するに至らざる有樣なるが斯く韓國產の虐遇さるゝ所以は畢竟產品の性質上の不良にあらずして剝方及乾燥上の不設備に基くものなり故にもし之が改良を爲すに至らば市價爲めに昻騰して需用も增加するに至るべく當業者の忽緒に付すべからざる問題なり韓國に於ける屠牛の方法は頗る不完全にて刀夫は皮に重きを置かざる爲め鈍刀を以て肝要なる背部を裁ち割り且つ巧致よりも拙速を貴び結果不注意の點多く之を日本の熟練なる刀夫が解剖すると比すべくもあらず次に乾燥の方法の如きも頗る不完全にて汚穢物の附着せる儘乾燥するを以て取引上斤量の點にも至大の惡影響を及ぼせり之等の諸點を改良するときは現今百萬圓の輸出額は同數量にて百三四十萬圓に增加するに至らん更に注意を要するは斯く產品の改良せられたる曉には輸出先をも選まざるべからず現今は主として大阪今宮等の皮商の手を經る狀態なるが之も直接熱巴調帝會社等の製革業者と取引する事相互の便宜なるべし要するに韓國牛皮の改良は刻下の急要と云ふべく當局者の顧念を要望すと某當局者は語れり

合邦と民心趨勢

合邦問題の起りし當時に於ては一時人心の動搖を來して之れが可否の議論は囂々として起り其の歸着する處を知らざるの情勢なりしが爾來研究の結果たるにや頗る穩健の論調となり今日にては合邦の已むべからざることを悟りたるものか統監府に提出したる建白書は左記の狀況にして近來は更らに反對の聲を聞かず統監府には毎日一二通づゝの合邦贊成建白書提出せらるゝ由にて其の今日迄の分は左の如くなりと云ふ

▲合邦贊成建白書
一進會(十二月五日)白長善(十二月)李唱翼(一月二十二日)李權泰(一月二十六日)國民同志贊成會長(二月八日)同(三月十三日)金炳爵外十九名(三月十八日)張珪煥外十二名(同日)李宜職外八名(同月二十二日)金在龍外二名(同月二十四日)金漢模外四十一名(同月二十七日)李乘濬等(同月二十九日)

▲合邦反對建白書
權丙俊(十二月七日)大韓國民演說會長(同月十日)鄭準民(同月十三日)姜準基(一月十五日)都元路(一月)國民大演說會長(同月二十三日)同上(二月十七日)

東拓金融部の今後

東拓會社の金融部は今期議會に於て其の制限を擴張し拂込資本金又は社債の年額を使用し得ることに變更せられ貸付の種類に就ても亦其の制限を擴張したるが其の內容は從來無擔保貸付を爲すこと能はざりしも今後は△公共團体に對して二十年以內の年賦償還又は五年以內の定期償還貸付△移住民に對し二十名以上の連帶にて五年以內の定期償還貸付△農工銀行の發行せる債券の引受、を爲し得ることゝなりたるに就ては會社が今後貸出しを爲すの範圍は最も擴大せられたることとなれば當局者其の人を得は充分なる活動の餘地あるに至れり然るに會社今日の現狀にては僅かに二百五十万圓の第一回拂込金あるに過ぎず而かも該金は既に盡きんとせる場合なる故社債を發行するか又は拂込を爲すにあらざれば何事も爲し得ざる情態なるを以て目下上京中の宇佐川總裁は此件に付き頻りに交涉中の由にて其の解決を爲たる上歸任の筈也と

露韓航路の打擊

露國政府は本年一月一日を以て突然日本船舶に毎噸十コペーク韓船に二留の噸稅を課する事に決したる旨外務省に通牒したり露國が何故に韓船に對し殆んど禁止的課稅を爲したるかに就ては理由明白ならざるも元來露、韓間には通商條約の規定なく唯ポーツマスに於ける日露講和條約第二條に韓國に於ける露國人には最惠國の待遇を與ふると規定しあるのみにて露領に於ける韓人に關しては何等の規定なしと兎に角露韓航業上に於ける一大打擊たるを以て我政府は目下露國政府に向つて減稅方交涉中なりと云ふ因に目下露韓間に於ける韓人航海船は定期船一隻不定期船三隻都合四隻なり

各地在留の邦人

理事廳調查に係る本年一月末在留現人表左記の如くにして之れを昨四十二年一月末に比すれば一萬八千九十八人を增加し人口前月分に比し千七百八十二人の增加を見る(四十三年一月末現在表)

理事廳名	前月末	本月末	增減
京城	四〇、六九九	四一、四八四	七八五
仁川	一二、八七九	一三、〇七四	一九五
群山	七、四五一	七、六八九	二三八
木浦	六、六五五	六、七二三	六八
馬山	八、三〇六	八、五二七	二二一
釜山	二六、九六一	二七、〇九〇	一二九
大邱	八、三三九	八、三五五	一六
元山	七、二八二	七、二四三	△三九
清津	六、二三三	六、二一九	△一四
城津	五六〇	五三八	△二二
平壤	一〇、三四〇	一〇、四四七	一〇七
鎭南浦	三、九一四	三、九一八	四
新義州	五、〇九二	五、一〇八	一六
計	一四四、六〇一	一四六、三九三	一、七九二

注意　本表△の印あるは減少の部なり

●統監府改正俸給令　今般改正されたる統監府の俸給令に付き其の內容を聞くに左の如し

職名	舊俸給額	新俸給額	加俸
統監	六、〇〇〇	八、〇〇〇	五割
總務長官	四、五〇〇	五、〇〇〇	五割以內
	三、〇〇〇	三、七〇〇	
參與官	[illegible]	四、〇〇〇	同上
	[illegible]	五、〇〇〇	
勅任理事官	三、〇〇〇	三、七〇〇	同上
奏任官	二、八〇〇以內	三、〇〇〇以下	同上
判任官	特別俸一〇〇	一三〇	八割以內
同上	一級七五	九〇	同上

以上は改正の要領なるが從來下級判任官の昇級は五圓なりしを十圓と爲し上級は十五圓上りとなりたり尚ほ此改正に際して辭令を受けざる者は從前の儘にて要は俸給令の改正に止り實際に於ては增俸せらるべき者極めて少數也と

●慶北侍天教の擴張　侍天教は今般慶尙北道慶州は敎主海月先生の誕生したる地にして緣故頗る深ければとて同地に教堂を建立することに決し以て教徒の募集に力めつゝあり又忠淸北道西州面に在る耶蘇教會堂は數年前の建築に係り一時信徒頗る多く勢力亦甚だ盛んなりしが同地方は素と侍天教の勢力圈なりしを以て之れが挽回に腐心しつゝあるの矢先教會堂建築費の辨償に苦しみたるを機とし之れを買收すると同時に韓人傳導師をも同教に引入れ專ら布教に盡力したる結果從來の耶蘇信徒も漸次侍天教に入るの狀勢となれりと

●警察部長方面會議　既報の如く內部は全羅南北の四道警察部長を召集し第二方面會議を開催せるが二十九日は會議の打合を爲し三十日は警務局長より左の諮問あり
一、警察部長會議終了後召集したる署長會議の狀況
二、警察部長會議後管內を巡視したる狀況
以上二項に對し大体の要領及警察上參考となるべき管內の狀況を各部長より逐一答辯し松井局長より現在巡查の執務並に巡查養成に關する一應の訓令を與へたり出席者は四部長及保安警務民籍の三課長外境、今村の兩警視等なり

●韓政府の追加豫算　韓政府は三十日の官報を以て沿道費土地調查費其の他に關する追加豫算を公布せり
歲入經常部第五款雜收入四、四九五圓△同臨時部第一款公債金繰入五九九、三五四圓第二款借入金二、〇九四、六七七計二、六九八、四二八圓△歲出臨時部(內部所管)第一款治道費一、四六一、六五四圓第七款土木補助費一五〇、〇〇〇圓△同度支部所管第二款營繕費四、四九五圓第十四款土地調查費五九九、二五四圓　農商工部所管第十四款平壤鑛業所營業費四八二、〇三六圓計二、六九八、四二八

●正副總裁就任交涉　昨紙所載の如く政友會は二十九日中部典洞の事務所に於て總會を開き役員選擧を行ひたる結果總裁に閔泳徽、副總裁に李載克以下常議員其他を擧げたるが三十日政友會の交涉委員は閔、李正副總裁其他を訪ひ就任の交涉を爲したる由なるが閔は從來之等の團体に擔がれたる例一再ならず李亦同會の分身とも見るべき國民協成同進會の副總裁に擧げられたるも之れを辭退したることなれば就任如何は未だ知り難し

●民籍の調查と人口　韓國に於ける民籍調查は十三道中調查終了を告げしは平南全北の兩道及京畿にして全部完結迄には尚今後二箇月を要するならん尚ほ調查進行に伴ひ人口戶數は增加の有樣にて今の豫想にては人口は一千七八百萬にも上るに至らん

●第二方面會議日程　警察部長第二方面會議は別項の如くなるが今其日程を聞くに三十一日及四月一日は松井局長より付議せる諮問事項を討議し二日は京城各官衙に就き警察上參考となるべき狀況視察を遂げ四日巡查教習所其他を參觀して歸任する筈

●沿海警邏船の損傷　去る廿六日仁川港より木浦方面へ警邏の爲出航せし巡邏艇第五號は機關部に故障を生じ運航の自由を缺ぎ同艇第六號に救助せられ廿九日仁川に歸港せり

●普信社役員選擧　漢城普信社は今般社務擴張の目的を以て役員の改選を爲したるが其の結果社長に白鐵斗、副社長に權啓德、監督以下夫々改選あり

●敍任辭令　左の通り辭令あり
依願免本官　盈德郡守　朴泰永
　稅關技師　鬼一郎
陞五級俸(三月二十四日度支部)
依願免本官　稅關技師　鬼一郎

三日目の京城民會

引續き開催せる二十九日の京城居留民會は定刻の午後七時に到るも有効の定員に充たず頗る難產を極め此場合御職掌の古城民長も折角の醫術を施す能はず漸く秋吉議員の出席を煩はして流產の不幸を免かれ午後九時二十分開會の初聲を揭げたり議長開會を宣し直ちに歲出臨時部に入り且つ議事進行の便宜上一讀會二讀會を併せ開くに決し異議なし〳〵の聲と共に第一款土木費街燈費五百十四圓第二款米倉町道路改修補助費八百圓第三款民團債利子八千十八圓を議了し第四款教育費に入るや校舍敷地購入費五千圓に就き大村議員削除說を主張し此費目は龍山新市街に分校設立の爲めなるも曾ても同樣費目を計上せし事あり然るに遂に現實を見るなく悉く他の費途に流用更正せられたり斯かる費目は所謂描ける餅の類にして到底庖厨の用を爲さゞるものと認むるを以て寧ろ時勢の發展に伴ふ相當計畫の下に豫算を要求すべしと述べ中島議員贊成となり抑々該分校設置の議は過日の民會に於て滿場一致を以て可決したる既定のものなり殊に現在の學校狀態は一校長の下に千餘名の學童を收容し文部省の學政方針と相容れざるものと認むる故に此際之を正だし以て其不均衡を改善するは最も時宜を得たるものなり且つ該豫算額は甚だ少額に失するも這は則ち準備豫算に過ぎずとて反對說を述べ民長の說明會我、秋吉其他議員の贊否交々演說ありしが採決の結果大村議員の削除說に三名の少數にて消滅し次で第五款衞生費を通過し第六款警備費、龍山新市街消火器梯子新設費百五十圓に付き多少の議論ありしも警備事務は早晚韓國同一制度の下に合併せらるべき運命を有し目下交涉中なり故に該豫算は規模甚だ少なるが如きも唯だ夫れ假設備に過ぎずとの民長の說明に滿足して通過し第七款基金補塡費六千七百圓異議なく第八款財產費三千圓に對し會我議員より該豫算は臨地購入の爲めなるが既に歲入に於て藝妓稅千九百三十二圓を減額せり故に之が補塡の爲め千五百圓に削減すべしと唱へ異議なく之に決し第九款火葬場新設費七千五百圓に對し議論沸騰せり古城民長曰く本豫算は委員會に於て始めて設定したるものにして理事者の與り知らざる處なり而して委員會は民長提案を調查する權能あるも新科目を設定するは法規に抵觸せるものと認む故に手續上面白からざるを以て委員の撤回により始めて茲に提出せるものとの議案の修正を乞ふ旨注意せしに中島議員仁王天の如く猛けり起ち這は以ての外の言分なり我等委員は既に付議せられし豫算を調查するものにして必ずしも唯々諾々理事者提案のみに拘泥すべからず民長の行爲は議員の權能を箝制して自己の勢力のみ張らんとするものなりとて熱心之を駁し更に數回の激論を戰はし採決の結果民長說破れ暫時休憩の上再び歲入第一款五項以下全部異議なく議了し午後十一時卅分散會せり

●瑞山邑の學校設立　忠淸南道瑞山郡邑內の日本人居留民は曩きに相圖りて學校設立の件を申請中の處去る十八日付を以て認可せられたるに付き次で尋常小學校設立認可及び補助金下附を請願し之れが認可を得たる時は四月一日より開校すべしと

●石油會社長の下仁　米國紐育スタンダード石油會社長シイ、エフ、マーカ氏及び同橫濱東洋支社長シイ、エー、コール氏は免許外人案內業通譯士屋調五郞氏を隨へ一昨夜京城より來仁來月三日まで旭屋に滯在する豫定

●榊原憲兵隊長歸任　憲兵隊長會議に出席の爲め東上中なりし榊原憲兵隊長は二十八日歸任したり

●若林總監の開城行　若林警視總監は三十一日開城に出張警察事務を視察し即日歸任の筈なりと

●澤田局長南韓視察　澤田內部地方局長は地方行政視察の爲め近々南韓地方へ出張すべしと云ふ

●信夫氏の赴任期　前仁川理事官信夫淳平氏は來月十三日東京出發西米利亞線にて赴任する豫定なりといふ

●佐藤事務官出張　過日漢城府行政事務視察中の佐藤內部事務官は地方行政視察の爲三十一日全羅南道に出張

●岩崎民長の入京　仁川岩崎民長は築港設備委員會に關する打合せの要務を帶び三十日入京し即日歸任したりと

●五百木氏の歸朝　朝鮮問題同志會の五百木良三氏は三十一日出發歸東す

●白山少佐の入京　鏡城憲兵分隊長同少佐は二十九日入京し山本旅館投宿

●森井判事の入京　統監府判事森井涉氏は二十九日入京天眞樓に投宿せり

●片山盛氏の出發　入京山本旅館に投宿中の同工兵大尉は廿九日鳥致院へ

龍山通信　(廿九日支局發)

▲明石軍參謀長昨三十日午後一時平壤より出發歸任▲韓國陸軍將校十七名は宍倉中佐、池大尉、大熊大尉天神林大尉等に率ゐられ四月五日より同十三日迄開城新幕地方に出張し圖上戰爭の實習を爲す筈▲臨時派遣隊司令官渡邊少將は昨三十日より管內巡視徵兵事務視察の爲め釜山地方へ出張▲秋山中將は二十九日新義州出發安東縣に向はれし旨其筋へ電報ありたり▲平壤建設部事務所長岡村初之助氏昨三十日來龍▲三十日午前零時五分京釜線增若驛保線事務所々屬倉庫より出火倉庫全部を燒拂ひ便所に燃移りしも驛員等消防に盡力し半燒にて同五十三分鎭火し驛舍は幸に免かるゝを得たり尚ほ發火と同時に同驛北方の電線を切斷されしも這も亦直ちに修復開通せりと出火の原因は鐵道管理局に達したる報告に依れば暴徒の放火なりとあれども軍司令部にては之れを否認せり▲前月龍山仁川等を騷がした麻浦船橋問題は其後兩地居留民の請願も內部に於て顧みられず上田某は取急ぎ架橋工事を進め居れるが上田某は何事を顧慮せしやらん從來既に一名の韓國巡查の派遣を仰ぎ居りし處今月來更に日本人巡查一名の增派を出願し其許可を得たりとハテ面妖千萬

▲治外法權▼

合邦に關する韓人昨今の態度は殆んど据膳的だ、而かもお客の方では中々箸を附けぬ、韓人曰く之程思ふわたしの氣があなたに分りませぬか、と、お客曰くウルサイ、ウルサイまだヒヨクは無いが▲合邦の評判で韓銀、東拓、日韓電氣株が昻がつたと云ふのは皮相の觀だ、良く考へて見なさい、假令合邦が出來ても前記の會社に何の特種の利益があるか▲今や內地の諸株は一體に昻つて居る、而して其昻つた源因はと云へば四分利附公債借替の成効である、韓銀、東拓、日韓電氣の如き皆內地の諸株に伴れて昻がつて行くのだ▲合邦が株式市場に及ぼす影響、ソレは絕對に無いとは云はぬ、併しあつたところでホンの少しだソレをがや〳〵喧ぐのは頭の足らぬ小株屋の事だ、畢竟大勢を左右するものに非ずだ▲茲に不思議なるは二十五圓拂込の日韓電氣が五十圓以上になつて居ることだ、今後數年間何の利益も無かるべき同株が今の破格の昻上は一體何の間違から來たのか、問はずと知れた重役の吊上げ策、其亦裏は社債の募集、中々岡崎さんは仕事師だよ▲イツゾヤ目見得たけ濟まして逃げて行つた梅ケ香丸が愈來月から關釜連絡に加はるソーだ、今の關釜は世界の公道だ、此公道に會下山などを置くのは鐵道院の恥だ、ツマリ國辱だ、只に會下山許りでない其他の船舶も取換るが宜し



慘酷なる二葉亭(五)

樓主夫妻の强請……今後のお時が身上……迷信の赤紙は客除け……

然ら强情を張つた處が矢張り女性は女性である何處にか情に弱い處がある張り詰めた意志も對手の根氣には遂に緩みが生ずる譯で到々或る一夜お時は見も知らぬ放蕩男の枕席に侍するに至つた、女は一度斯ふなつては最う最後である怎うなる者かと云ふ了見が次第〳〵に根を張つてとゞの了ひには自ら好んで深い底の知れぬ惡魔の巷に身を墮す事となるのだ、僅か十日許り前迄は破布姿の無垢であつた彼れお時の今後は何どなり行くであらうか彼れが如き容貌の美と與へられた普通の教育が若し惡い他の方面に利用せられるとすれば、お時の今後は或は恐るべき後半生の或る運命を齎らすであらう實に憎くべきは二葉亭樓主夫妻にして斯くの如く罪もなき少女を甘言に欺きて連れ來りては散々に生血を絞り上げて泣かしめたるは獨りお時のみに限らず其の數幾人であるか解らぬ位である此の外一昨年の四月頃抱ね込みたる梅子と云ふ酌婦の如き同樓の金箱と迄珍重がられし程稼ぎしにも不拘一度梅子が病床に就くや今迄の優遇は忽ち惡鬼の形相となつて其の虐待の素振こそ人の見る眼も氣の毒な程にて遂には某新聞に迄叩き揚げらるゝに至つたのである。

茲に彼等同業仲間での一つ話となつて居る或る珍談がある夫れは一時二葉亭の客足が落ちて二進も三進も往けなくなつた時の事で樓主弘津芳太郎は手拭眼深かに口髯を包んで深夜他料理店の客足多き樓を見懸けて密かに忍び往き俗に客除けと云ふ赤紙を樓下或は格子下へ貼り附けて歸り來るので所謂其の赤紙を貼り附けられた樓では客足が落ちると云ふ迷信から來た淺墓な考へに過ぎぬのであるが一寸する事でも怎う云ふ遣り方の縁でない事許りを常に行なつて居るのである、だから世間を始め同樓内の抱ね酌婦の如き、誰一人として陰口を利かぬ者はなく皆な打揃ふて樓主側に背を向けて居ると云ふ始末併し斯くも四面楚歌の裡にありながら是れを都合可く料理して往く手腕と云ふは大した者で無覺無情と慘酷とから生れ出でた人外漢と云ふより外はない、まだ此上書き立つれば主婦高田みかが淸國在留當時淸人對手の怪腕から弘津芳太郎が憲兵當時の職務振りから近くは弘津芳太郎が韓國中の女房みかの淫亂沙汰迄連日に渡つて殆んど最限がないのであるが一ト先づ此の邊にて筆を措き今後に於ける彼等夫妻の商賣振りを拜見の上其の反省の如何に依ては再び筆誅の稿を起す(完)

法學出身の泥棒

▽空巣覗が本業……▽前科ある曲者……

石川縣羽咋郡富來村平民當時明治町二丁目後藤下宿止宿の小島亮三(三〇)と云ふは昨年二月渡韓一時龍山元町に住居せしも同四月來京永樂町の仲介社と云ふへ入り込み執務中同社の解散と同時に糊口に迫り各方面に適當の口を搜索し居りしも相當の處なきより茲に惡心を起こし昨年末より空巣覗ひと化し同十二月二十八日旭町三丁目河村寛淸方の留守宅へ忍び込みしを始めとして三月中旬迄の間に大和町二丁目の原田方助方へ同町二丁目廣瀨熊藏方へ同じく二丁目馬渡三市方へ旭町二丁目堤重四郎方へ同じく二丁目竹田ふく方へ同じく三丁目島林正平方へ明治町一丁目中原文雄方へ若草町今村久泰郎方等數十軒へ時も殆んど午後九時頃を期し空巣許りを覗ひて忍び込み竊取なしたる贓品は山の如く其の價額約一千圓に及べりとなり而も右贓品は一切入質なして新町遊廓大桝屋の富次、南山樓の房江、本町一丁目裏の君の江の酌婦芳子事牧野よし等に全部費消せる者にして前記宿所はありながら常に不在勝ちにて龍山より來京後の如き一定の住所はなく空屋又は韓人家等に起臥し爲めに昨年五月中空家に潜伏中を發見せられ南署へ引致の上訓戒を受けし事もあり尙其の以前も友人の頭に負傷せしめて說諭を加へられし事もあり別に嵩野草一杯の僞名を用ひる等旁々注意中の處遂に烱眼なる長野刑事の爲めに看破せられ去る廿三日午後九時頃大平町通行中を逮捕さるゝに至りしなりと云ふ同人は元日本法律學校出身の由にて前科等は無き樣申立て居るも我社の探知する處に據れば去る三十八年中東京地方裁判所にて脅喝取罪にて重禁錮に處せられたる事ありやに聞く

因に右贓品中一月初め大和町附近にて竊取なしたる名仙紬女袷一枚裏紺紅絹裏褐色紅絹袖裏紅絹の著被害者不明なれば心當りの申出らる可し

在韓水戸人士に告ぐ

水戸浪士が憂國の餘り櫻田の快擧を敢て爲したるは今より半世紀前なり、爾後大義名分明かとなり政權朝廷に歸り國運隆々以て今日に至る、朝廷曩に浪士に贈位の恩典を賜ふ死して餘榮ありと云ふべし、今や外交多端世人動もすれは軟風に襲はれんとするの時に當つて東京やまと新聞社主催となり來る四月十日を期し九段招魂社に於て浪士の爲に五十年祭典を擧行せんとす、蓋し吾人の意を得たるものと云ふべし、依て思ふに在韓水戸人士は浪士と鄕を同ふする者該祭典に與かるの特權を有す故に本社は此際水戸出身の諸氏に寄附金を請ひ之を一括してやまと新聞社に贈り祭典費の一部に加へんとす幸に御贊成あらんことを希望す、

寄附金申込期日

四月三日限り

申込所　**京城新報社**

邦人賊手に殪る

▽賊の首魁は韓寧滿

去る二十六日午后五時慶尙北道醴泉郡醴泉市場(醴泉の東南二里)に賊の首魁韓寧滿の率ふる一部隊二十四名來襲し折柄倭城驛より商用の爲め來りて泊り合せたる山口銀三郎を慘殺したるにぞ同地附近の巡査守備隊憲兵は連合追擊中なるが其后の情報に依れば賊徒は安洞方面に逃走したるものゝ如しと其筋に電報ありたり

●重ねて四ツ切

▽仁川港の姦通沙汰

仁川花町一丁目居住の和田元八(三六)と云ふが一昨日午後七時頃素洗足の儘顔色を變へて語る言葉も後や先き京町派出所に訴出でしよう「只今京町二丁目の四牟田かね方の二階で私の妻三木たけ(三〇)と花町一丁目餅屋業田口方同居の姓名不詳の男とが同衾して居るのを發見したれば御說諭ありたし……」と泣かぬばかりに申出でしにぞ係警官は時を移さず現場に出張したるに此時は既に姦夫姦婦は風を喰つて逐電したる後なるより如何共詮方なく試みに前記の牟田かねに就て取調べたるに右三木たけとは兼て知合ひの間柄なりしが此日午後二時頃鳥渡二階を貸與へ呉るべき樣嘆願するより何氣なく貸與へたる處程て一名の男たけを尋ね來りて共に二階に上り込み珍膩の差向ひにて何事をか語りつ笑ひつ打ち興じつゝありしが程經て兩人は未だ宵には餘程の時間あるにも拘はらず同じ衾に寢ねたるぞ淺間し斯かる處に夫の元八と云ふが盲藥も荒々しく女房を尋ね來り無斷のまゝ二階に上りて見れば恁は抑も如何に可愛い女房は仇しい男と枕を列べて紅閨の夢圓なるを見たる夫の元八は憤怒の極鐵拳を振りあげて擢つた揉んだの亂痴氣騷ぎを演じたる揚句到底其筋の厄介にならざれば落着すべくもあらぬより京町派出所に訴出でしものと判明したれば係警官は內縁の妻の事とて姦通罪の成立せざるを諭し兎も角搜索願を差出ださしめて引取らせたりと近頃苦々しき事を聞くものかな

●八々中に御用

龍山署の巡査が一昨二十九日午後戸口調査のため元町四丁目七十八番戸の一與住源次方に到りしに四五人の者車座になりて八々の最中なりしかば直ちに踏むで主人源次(三五)同人妻つて(三三)白濱町六番戸大坂生れ異田源次郎(三三)の三名を捕縛し場錢五圓五錢と花牌とを押收して本署に引揚げしが龍山鐵道官舍二號宿舍後藤某(二五)同鐵道官舍巡視松波某(三三)の兩名は其場より逃亡せりと

●科料と拘留

本町八丁目十番戸住仁木貞治(四二)と云ふは廿八日午前十一時頃南大門通り三丁目の道路に荷車を横へ通行を妨害せるを以て科料二十錢▲長谷川町一丁目料理店麻生ふさ(三六)は二十七日午後五時頃相川萬藏外二名の抱ね酌婦月生たか外二名を媒介せし爲め拘留四日▲長谷川町一丁目十六番戸料理店酌婦桑原かし(二〇)は二十八日午前五十頃相目爾三と云ふへ賣淫の約を以て三日の拘留

●海老名氏の擴傳

既報の如く海老名彈正氏は當地に於ける日本組合基督教擴張傳道の爲め神戸敎會牧師渡瀨常吉氏同道來る四月一日夜着京の筈なり日の出町京城基督教會にては目下夫れ〳〵準備中にて同教會主催及他の依頼により兩氏講演の豫定大要如左

四月二日夜京城基督教青年會講演會

會場　壽町　日本人商業會議所

同三日午後　鐘路皇城基督教青年會

同八九日夜　大演說會　於壽座

同十十一十二夜說教會於日出町教會

同九日午後二時有志講演會於廣通館

同十一日午後二時婦人大會　於商業會議所

尙同月四日より七日まで平壤往復の爲め發さるゝ筈なりと

●惡婆の懲役

仁川新町一丁目居住の按摩業永井ちかと云ふ惡婆が梅福亭の酌婦を喰物にして甘き汁を吸はんとし其半金として二十圓を騙取せし由は前號にて報じたるが同人に關する詐欺取財の公判を一昨日仁川裁判所支部にて開廷せられし結果懲役三月に處さる

●金を掏らる

一昨廿九日午後十一時頃長谷川町一丁目五十番戸元憲兵隊宿舍跡印刷局員横內貞藏(三九)と云ふが旭町歌舞伎座見物打揚後下駄受取中洋服のポケットに入れありし金四十九圓を何物にか掏られたりとて訴へ出ず

●チンピラの竊み

昨卅日午前十時頃東部銭井洞の申在圓(十七)と呼ぶチンピラは南大門通り二丁目美濃谷金物商の店頭にありしポンプの口金を表硝子戸の破れより手を入れ拔き取らんとして店員に發見され引致さる

●盜者の處刑

仁川宮町二丁目居住の口入業松田宇一方に忍び入り衣類一點を竊取せし住所不定の小松事鷲谷治丸と云ふ前科二犯の曲者は去る廿六日仁川署刑事の手に捕へられ一昨日京城地方裁判所仁川支部に於て公判開廷の結果懲役十月に處刑されたり

●迷犬

一昨廿九日薫陶坊八十二統十七戸材木商金赫鎭方へ一頭の迷犬來れる由なるが其の頸には金澤白銀町納賀飼犬と記されたる首環ありしと

目と耳

▲壽座　同座にては山本刑事殺しを脚色して開演する筈の處なりしが其の筋より差し止められたるを以て右は中止し本晩の狂言として「法廷の血涙」と題せる通し物にて其の場割は(一)强盜は何者(二)犯人搜索(三)刑事の負傷大格事(四)犯人の捕縛(五)訊問に意外の陳述(六)藝妓の證人(七)出でたりや證據の短刀(八)意外の處に意外の犯人(九)法廷に啼く不如歸

▲京城座　同座本晩の替り狂言は「僞忠義」と題して其の配役は　紳士桂(今井)紳士花村(花井)書生山村(千葉)家令大山明(川崎)河村家未亡人里子(金澤)召使れき(桂木)藝妓花扇(田中)結城友近(高山)矢上一郎(高島)醫師松本玄齋(上田)少尉木村潮(少佐山本勇)浮田)惡僕權次(巽部)長屋の嬶(秋岡)仲居れしま(三好)甲斐田武(美濃)河村正一(瀨川)

▲浪花館　同館廣澤菊丸、吉川今勝の浪花節は此度吉川今勝大連へ乘込むに付其の名殘のお禮として今日より向ふ七日間木戸場代共無料にて開演なすとの事なり

▲仁川歌舞伎座　同座本晩の替り狂言は「浮世車」五幕喜劇「五萬圓」一幕なり

▲平民文庫▼

▲太平洋で斯う云ふ話を仕て居た人があつた▲今迄民團では徴稅に吏員を出張せしめたのを今度から廢める相です ね▲ハヽアすると納稅は何うなります▲何うも斯うもないんです持つて行つて納付するのです▲夫れは左樣ですが滯納の時のことです▲滯納者には督促狀を以て期限を定めて納稅せしむるのです▲夫れでも納付せんときには何うなります▲滯納處分の强制執行ですよ▲夫りやあ酷い恰度脅喝取財だ▲脅喝取財とは夫れてア酷いマア暴徒が軍用金の徴發を命ずる位の處ですね▲と聞く者語る者相見て哄笑(風聞子)●●●▲面白い(小僧)▲旭町一丁目やま平と云ふ魚屋さんがある其の妹さんは仲々感心な人の樣に見受ける僕の弟の嫁に呉れないかしら(通行人)●●●▲聞いて御覽なさい(小僧)●●●▲長谷川町の本願寺の前の雜貨屋では朝つパラから御夫婦で店頭の火鉢を圍んで貸本計り讀んで御座るよ(天笑天)●●●▲三十日の朝旭町一丁目の戎館の前に松の植木箱が置いてあつたのが眼に付いたので立ち戻つて覗き込んで居ると九州旅館の二階から桃でも掻うのぢやないかとでも思つたか二人の女が鋭い眼をして睨めて居つた(への字)●●●▲僕は過日來より大韓病院に通ひ居りますが患者數が多いのに診察が捗らぬので朝九時頃より午後一時頃までと云ふものは腰掛が不足して彼方に立ち此方に立ち脚の痛む者なぞは大に困却して居るから腰掛は充分に備へられんことを望む又下足番が不注意に付き歸る時に至り患者困却致し候に付充分說諭下されたい(希望生)●●●▲長谷川町の大觀亭の石垣の上に三尺通り位空地があるが彼れに西洋草花でも植ゑたなら通行人の眼を喜ばせることが出來ると思ふが何んなもんでしよう(一老人)●●●▲近來面白い提議だが美い事の行はれた例のない京城だから駄目だ(小僧)

今日の運勢

三月卅一日舊二月二十日●八白先負乙未　定△一白　諸事控へ目にすべし勞多くして効少なし旅行相談見合すべし△二黒　他人よりは損害を受け親しき間には爭論起らんとす●中傷に罹り易し△三碧　物事齟齬に了り易し新事及相談依頼計畫等凶△四緑　不得要領に皈す新事及談判中裁調停効なし農林業には吉△五黄　目上の者より叱責若くは飛散にあふわらん商賣には良好の日なり△六白　快欣の日なり大抵吉八より疑答にあふゝ恐れあり△七赤　契約調停相談等吉あり色情の難愼しむべし△八白　凶運なり新事改易の事凶酒色盜難防ぐべし△九紫　萬事大の日なり旅行談判取組取引等に好良

●天氣豫報

(自三十日午後六時至卅一日午後六時)

北、西の風晴

廿九日(華氏)　最高温度　五二、五　最低温度　三七、六

廣告

入院隨意

龍山新市街山下町

内科 小兒科 眼科

原醫院

米國プロクター、エンドギヤンブル會社製品



●僞物あり●

入浴にも、化粧にも、食器衣類の洗濯にても適します

●商標御注意●

春着用本場秩父縞
新柄各種着荷
京城南治町一丁目
秩父屋
關根出張店
(電話四三番)

値上廣告

韓語大成

一部一圓八十錢

從來一部一圓五十錢の處今回紙數百余頁を加へ改正增補致候間前記の通り値上候也

京城本町五丁目
釘本藤次郎本店
長電話四五番
振替貯金口座韓國一二五六番

移轉廣告

今般從來の家屋改築中左記の處に移轉致し營業罷在候に付此段廣告仕候也

三月三十日

京城長谷川町二丁目(初音樓隣)
湊質店

●女生徒募集

●本科各學年及技藝專修科各學年生徒若干名募集す學則入用の方は郵券二錢送附せらるべし
●來る四月十一日より授業を開始し各教科は專門の良敎師之を擔當す

私立 京城女子技藝學校
京城旭町一丁目

園兒募集

●幼兒若干名募集す　四月十一日
●保育開始
●開誘室遊嬉室附添人控室等の設けあり廣い運動場もあります
旭町一丁目ベルギー領事館西

私立 京城幼稚園

●夜學生募集

●英語、國語及漢文、數學の三科目
●四月十一日より授業を開始し每日午後七時より十時に至る
●統監府中學校の該科敎科書に就きて敎授す入學希望の方は來校の上承合せらるべし

私立 京城夜學校

諸看板製作

油繪肖像畫●硝子金文字入
ペンキ塗工事大勉强請負

永樂町二丁目
赤門通り

椹野工舍

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話二千四百〇九
ゑり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●從業員 三十四歳貨物取扱及通關手續に經驗あり多少英語を解す會社又は商店諸官衙と望む 氏名在社(一〇)
●農園野菜類 協同者を求む但し經驗ある確實なる人 電話一二四二番方 ないとう
●書生採用 廿歳以下確實なる保證人ある者を求む 旭町二 堤法律事務
●店員入用 廿歳内外保證人を要す 龍山元町三丁目 日韓組米店
●女雇入 家並手傳又女中入用給料普通以上望に依り勉學餘暇を與ふ前九時迄後五時より來談あれ 永樂町二の九二 伊藤

物件部

●貸家 平家一戸疊數四間及長家一戸疊數三間 場所南大門外吉野町
●瓦葺平家 建坪十五坪乃至十八坪の家至急買入たし 電話七四番へ
●電話買入 (姓名在社)
●ポインタ種犬牡一頭歸國に付格安讓る 姓名在社

廣告

弦齋流割烹
並に歌舞伎辨當
材料の豐富と技倆の熟練は割烹界に於ける弊店の特色に有之候
京城南山町一丁目
まつ津
(電話一五〇二番)
出前の儀は電話又は一報次第即刻持參可仕申候

最新療治 マッサージ治療
(並に產婆開業)
◎主治概要 腦神經諸病、胃腸諸病、神經痛、關節諸病、產婦人科諸病、うちみ、くぢき、りよまちす
其他醫藥効なき頑固痼疾を治療す
京城太平町二丁目大漢門通光化門寄
長瀨軍醫監東京仁壽病院マッサージ部
京城出張所
助產の需に應ず 產婆 荒川元子

御料理 席貸
和樂園 高田家
(電話九三七番) 米倉町
○料理は萬事御手輕にして高尚
○園内は至極閑靜にして別世界
○土地高燥にして見晴し京城一
○大廣間の設備も有之候間集會又は宴會等に適當に候

京城鐘路の喰物は何んだろー
裁判所前の洋食店 鐘路軒の
松茸めし さ 五品付
酒一本 外和洋料理
一人前六十錢
價が安くて うまくて はらニたまるよ 皆さん一度たべてごらんなさい
又 和洋料理和洋食共辨當の注文すらさすぐ一つでも持つてくる 極く便利ですよ
電話 壹四二九番 客用 有ます
◎監獄辨當の差入も引受ます◎

廣告
◎和洋珍草花類種々
◎庭園用樹類各種
◎果樹木苗類各種
◎山林用苗木類種々
◎盆栽及觀賞植物類
◎庭園築造工事請負
時下春暖之候各位益々御壯健奉大賀候然ば弊園例年の通り母國各產地より深山輸入致し安價大販賣す候條愛園諸彥目下移植好時期仕候間此期を逸せず多少に拘はらに陸續御購求の程願上候也
尚弊園に盆栽類草花類の貸鉢も至極完便に且つ僅少の損料にて希望の方に貸付け仕る可く御望の方はハガキにて御通知被下度候
京城旭町一丁目第四十九番
萬樹園 植田常藏

御紋上繪、染物、洗張、西洋洗濯
もの し、しみぬき、かけつぎ
京染悉皆取扱
葉書にて御一報被下候へば早速店員罷出精々御便宜に御取扱可申候
京城古市町
京屋
主任 島田嘉吉

紙と印刷
諸紙
和洋帳簿
印刷
各種製本
諸官衙御用
播本商店
京城本町六丁目
電話百拾番

諸官衙御用品調達
營業科目
和洋紙類　印刷附屬品　印刷インキ　和洋書籍　防腐デシン　穀物食鹽　諸染料類　雜貨
特託販賣
東京ランバート商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
東京產鹽合資會社食鹽特約
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京京橋南鍋町一丁目 (十番電話新橋三六九二)

諸荒物世帶道具一切
其他和洋蠟燭 アサヒ サッポロ ビール 精白米
右大勉强仕候に付陸續御用命仰付られ度伏奉願上候
京城本町六丁目
日用雜貨 御問屋 ㊄西 西崎嘉七本店
電話二一〇 電略(ニカ)
振替貯金口座韓七番

特約販賣
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)
自製 和洋酒、㊎精酢、罐詰、乾物、荒物、食料雜貨、ビール、鑵詰、乾物、鰹節、鹽辛、日本名産物特約販賣
御注文に依り産地直送も仕候

京城ホテル
京城南山町(元日本人俱樂部事)
長電話 一二三番
電話 四九二番

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾五萬圓
京城南大門通
株式會社 十八銀行 京城支店
(電話四二〇)
本店 長崎市築町
支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、羅州、大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候 (利息日歩壹錢二厘)
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店)

入院隨意
京城壽町三丁目(電話三七八番)
中島醫院
院主醫學得業士 中島貞信

胃腸新藥
タカヂアスターゼ
韓國總代理店
仁川本町二丁目 電話八五〇番
竹田津三平

◎豫約方法
▲定價 全三冊 價九圓 十二圓
▲豫約代價拂込方法 豫約申込と同時に一圓上卷引換に三圓、中卷引換三圓、下卷引換二圓、合計九圓四回に拂込むこと
▲一時拂込 八圓五十錢
▲製本期 上卷四十三年四月末日 中卷同年五月末日 下卷同年六月末日
▲郵稅 賣捌所々在地以外の地は一冊に付郵稅小包料金二十錢日韓相互間金四十錢
▲豫約申込期間 四十三年四月十五日限
▲官公署は豫約申込金を要せず

本書は之を大別して(上卷)農業、林業、鑛業(中卷)水產業、工業、商業(下卷)金融、通貨、交通運輸產業上より見たる二百有餘ヶ所に涉る各地事情の十篇約七十章數千項とし苟も產業に關聯する限り有らゆる方面に亘りて亦一物をも餘さず尙助くるに至便精密なる地圖、寫眞等數十葉を以てす。著し夫れ本書の校閲に至ては之を當局指導の各專門諸士に仰ぎ一々嚴密なる校訂を經たり故に其記事の精確にして周到なる他の能く及ぶ處にあらず實に韓國產業界空前之大編著にして韓國に於て殖產及商工業に從事せんとするもの〻一日も缺くべからざる好指針たるを信ず

韓國產業誌

曾禰統監題字、石塚總務長官、木内農商工部次官序文、菊池商工局長、中村農務局長、鈴木司税局長、工藤鑛務局長
農家東拓囑託、庵原水產課長、島田通信管理局總務課長、荻田統監府書記官、各校閲、京城文庫主任 山口精編著

最上製美本背皮クロース金文字入上中下全三冊菊版紙數約三千三百頁

●豫約申込所
京城壽町一丁目 京城文庫
發行所 東京市日本橋區本町二丁目 寶文館
大賣捌所 大坂市備後町四丁目 吉岡寶文館
同 京城本町二丁目 日韓書房
同 釜山大廳町 吉田博文堂

めし道樂開業御披露
鯛 松たけめし
あなご 竹の子めし
鷄 ゑんどうめし
一人前三十錢
たなしく たなしく たなむく
めし道樂は御座敷の異中に持運び御嗜好に任せ按排加減を程好くして差上ます何卒御賞味かたく〻御來遊の程ひとへに願入申ます
なくて七癖と申しますから隨分色々の道樂もありますが就中めし道樂ほど、よい道樂はございません、此道樂を發揮せん爲め、わざ〻大阪表からわり拔きの美人を呼びよせ釜のまゝ御座敷の異中に持運び御嗜好に任せ按排加減を程好くして差上ます何卒御賞味かた〻御來遊の程ひとへに願入申ます
尚多少によらず出前も御便利に迅速にお屆け仕りますから御用命の程御願申上ます
大和町三丁目 梅の家眞向ひ
明月
電話七三五

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス)
京城旭町一丁目六十七番戸
辯護士 岡田榮
(電話三九八番)

明治廿年七月創立
東京火災 海上運送 保險株式會社
京城代辨店 本町四 山口吳服店 電話九番
資本金一千萬圓
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

韓國銀行
電話(長)一、三二一 本店用
電話(長)一、三六〇 營業用
一、三六〇 度支部用
一、一一〇 國庫用
一、三〇二 來客用
一、三六六 臨時建築部用

支店出張所 仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、群山、木浦、馬山、咸興、城津、義州、安東縣
爲替取引先 東京、大阪、橫濱、神戶、京都、名古屋、四日市、下關、伏見、東京新大阪町、大阪西區、松山(以上日本) 釜山、公州、光州、晉州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、義州(以上韓國) 大連、(淸國)
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候
御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
(電話一一五番)

京城明治町二丁目(佛國敎會前)
辯護士
特許辯理士
岩田仙宗
電話三五四番

神戶資生分院
京城相生町(南門湯横)
◎花柳病專門並、痔(注射療法)
●入院隨意●
京城梅毒病院
(電話一二九四)
院長 醫學得業士 廣田耕平

資本金 一千萬圓
積立金 五百四十萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
電話 一一番 六二一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大坂、京都、橫濱、神戶、名古屋、四日市、下關、新大坂町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山、
其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候